

講義名	健康情報論			
担当教員	北村 裕美			
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限	授業形態	講義	
履修開始年次	3年生	単位数	2	備考

**主題と概要**

日本人のヘルスリテラシーは欧米に比べて低いと言われている。健康的で豊かな社会の実現に貢献するためには、まず自らのヘルスリテラシーを高めることが肝要である。そこで、本講義では、国内外の健康に関する情報を適切に得て、活用するための基礎的な知識と情報収集方法を身につけることを目標とする。また、人口統計や疾病情報など、ヒトにおける健康問題を考える際に必要な健康情報と根拠に基づく医療の基盤の一つである疫学について概説する。

**到達目標**

マスメディア、インターネット、文献データベースを利用して、エビデンスのある健康情報を収集できるようになる。  
 講義に関する公的統計情報の基礎知識を学び、その動向を説明できるようになる。  
 講義に内容を分かりやすく示し、伝えることができるようになる。

**提出課題**

確認テスト  
レポート  
発表資料

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック**

必要に応じて、個別に講評する。

**評価の基準**

確認テスト・・・25%  
 レポート・・・25%  
 発表・・・50%

\*所定の出席（2/3以上）に満たない場合、単位は認定できない。

**履修にあたっての注意・助言他**

基本的なパソコンスキル（Word、PowerPoint、データベース検索）を使って、学修する必要がある。  
 対面型のため、感染予防に向けた生活や受講ルールを順守すること。  
 クラブ活動、就職活動による欠席は考慮しない。

教科書				
.使用しない。				

**プリント資料及び参考文献**

<資料>  
 授業中に配布する。  
 <参考文献>  
 国民衛生の動向 2021/2022、厚生統計協会  
 健康・医療の情報を読み解く 第2版 健康情報学への招待、中山 健夫、丸善出版  
 ヘルスリテラシー：健康教育の新しいキーワード、福田 洋他、大修館書店

- 授業計画**
1. はじめに
  2. 健康情報の収集 エビデンス
  3. 健康情報の収集 テラタイプ
  4. ヘルスリテラシーとは
  5. 疫学の基礎 因果、バイアス
  6. 疫学の基礎 症例対照研究、コホート研究
  7. 保健統計 人口動態統計
  8. 保健統計 人口動態統計
  9. 保健統計 死因統計
  10. 主要疾患の疫学と予防対策 (がん、脳血管疾患、心疾患)
  11. 主要疾患の疫学と予防対策 (感染症)
  12. 主要疾患の疫学と予防対策 (精神疾患・その他)
  13. 生活習慣の現状と予防対策 (健康に関連する行動と社会・身体活動・運動)
  14. 生活習慣の現状と予防対策 (喫煙・飲酒・睡眠・休養・ストレス)
  15. まとめ

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

予習：事前に公開される講義資料を熟読し、関連するニュースを収集する（2時間）  
 復習：講義で学んだキーワードを整理し、ノートにまとめる（2時間）

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

本講義は、健康分野に関する基礎知識やプレゼンテーション能力の習得を到達目標としており、ディプロマポリシーの一部に貢献する科目である。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

双方向授業では、Microsoft Formsを使用する。

**実務経験の有無及び活用**

**備考**

新型コロナウイルス感染症の状況によりシラバスの修正があります。